

コミュニケーションとコンテンツ

動画制作

コンテンツ制作のポイント

昨年度、制作した学校紹介の動画について新入生に印象を聞いてみたら不評だった。
今年度はその動画を改善してみよう！



学校紹介の動画をつくろう

● ユーザー中心のデザインを楽しもう

ただ作るだけではなく相手（ユーザー）を意識した上で、
作ることを楽しもう

● ユーザーへの効果的な伝え方を考えよう

何のために、相手（ユーザー）に、何を、どのように伝えたいか
着目した上で伝えよう

● 試行錯誤しながら何度も改善を繰り返そう

相手（ユーザー）を意識して、どのような内容・伝え方を
した方がいいのか、何度も繰り返えそう

今回のストーリー

昨年度の動画は先生たちの要望は満たしたが、
生徒や保護者の要望を満たしていなかった。

海外に留学に行きたいみたいだけど、
在学中にいけるのかな？

学校の校風や授業の雰囲気
はどうなんだろう？



保護者と生徒側
(ユーザー)



自分の進路に合わせた
科目選択ができるよ



先生側
(発信)

制作する動画について

動画のテーマ

- 学校紹介

対象となるユーザー

- 中学生
- 中学生の保護者

対象とするメディア

- 学校公式SNS

制作物

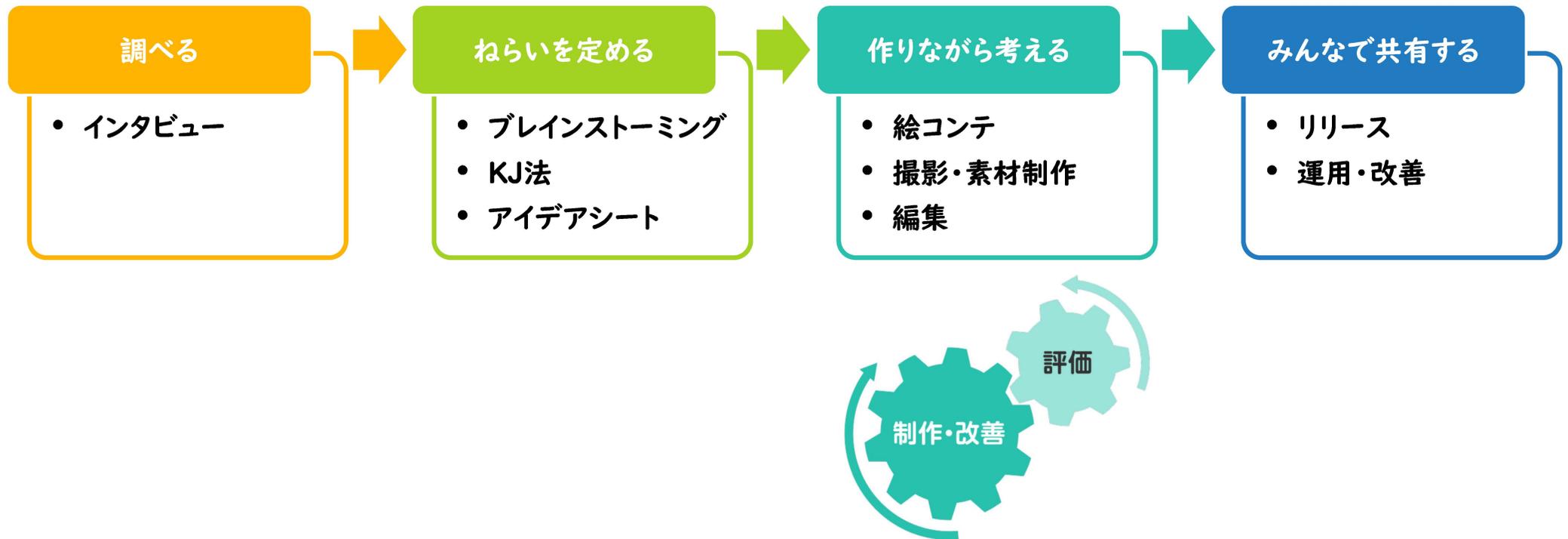
- ショートムービー(15or30秒)

動画の条件

- 先生と生徒・保護者の視点を踏まえた上で、学校に入学したい!と思う生徒を増やす内容であること
- アップロードして閲覧可能なものにする
- 法的な配慮(著作権法等)を考慮すること
- 公序良俗に反しないこと

動画制作の流れ

今回は下記の4つのステップに沿ってショートムービーを制作しよう。



調べる インタビューでニーズを聞く

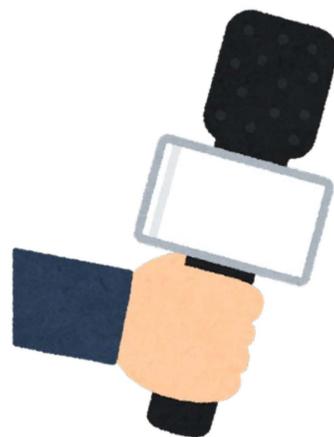
調べる

留学以外にも、
日常的に英語を
学べる環境が欲しい

情報端末を積極
的に活用した授
業を受けたい



ユーザー側



受け身ではなく、
主体的に行動す
る生徒が欲しい

選択科目が非常
に多いのが本校
の特色



先生側

制作する動画について

ねらいを
定める

アイデアシート

インタビューでまとめた内容をもとに、アイデアシートに構想をまとめ、それをグループで共有しよう。

アイデアシート	
アイデアのタイトル:	学びの主人公は学習者だ！
アイデアの特徴:	
<ul style="list-style-type: none">授業は先生が主役ではなく生徒が主役である	 ユーザー (こんな人が) 授業中に自分の考えを積極的に発信したい生徒
<ul style="list-style-type: none">主体的に生徒が活動を行う授業が多い	 シチュエーション (こんな時に) 生徒主体で学ぶ授業が多い高校を探している
<ul style="list-style-type: none">いろんな考えを比較して新しいアイデアを生み出そう	 うれしさ (こんな価値を提供したい) 高校でディベートやディスカッションの科目があることを発見！

作りながら考える

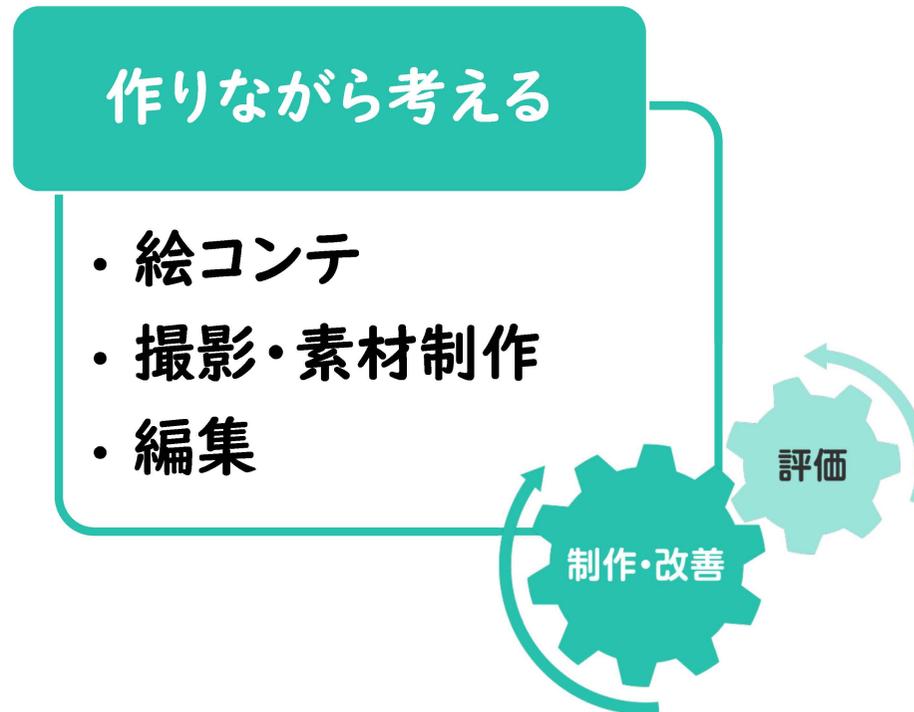
作りながら
考える

作りながら考える

- ・ 絵コンテ
- ・ 撮影・素材制作
- ・ 編集

制作・改善

評価



絵コンテ

作りながら
考える



どのような構図か
描く

構図の解説
を書く

ナレーションと
して付ける
セリフ

時間
配分

効果音

シーン	カット	画面	内容	セリフ	時間	効果・音楽
1	1		先生が黒板に書いている内容をノートに写している生徒の様子	先生が板書したものをノートに書き写すのだけが学びだろうか	5秒	生徒が楽しそうに学んでいる雰囲気が伝わる曲
2	1		生徒たちが自分たちで調べたり、議論したりしながら、学ぶ様子	高校では先生ではなく生徒が主体に学んでみませんか	5秒	

動画制作の役割分担

作りながら
考える



動画制作の際に役割分担を決め、多面的な視点で、ニーズに沿った動画ができているか適宜確認をし、協働して制作しましょう。

- ① 監督（ニーズに沿って動画ができているか、タスクマネジメント、全体を総括する）
- ② 撮影（撮影を行い、動画の素材を集める）
- ③ 編集（撮影された素材を編集し、配信に適した映像を制作する）



動画の評価



評価・改善

作りながら
考える



改善した動画の評価



みんなで共有する

みんなで
共有する

みんなで共有する

- ・ リリース
- ・ 運用・改善

動画制作の流れ

デザインする時の流れを簡略化し、今回は下記の4つのステップに沿ってショートムービーを制作しよう。

